

# サン・レモだより

開院30周年特別号



医療法人 心々和会 サン・レモリハビリ病院 広報部

佐世保市江上町4848-1 ☎ (0956) 58-5900

[http:// kokowakai.or.jp/sanremo/](http://kokowakai.or.jp/sanremo/)



30th Anniversary



## サン・レモ リハビリ病院 開院30周年を迎えて

医療法人 心々和会 理事長  
サン・レモ リハビリ病院 管理者  
浅井 貞宏

職員の皆さん毎日の勤務ご苦労様です。  
私たちのサン・レモ リハビリ病院は令和5年度にめでたく、開院30周年を迎えます。

サン・レモ リハビリ病院は平成5年(1993年)5月1日特例許可老人病院(200床)として友廣嘉久理事長のもと開院いたしました。

所在地の江上大島は風光明媚な地中海のサン・レモに似ていることから、療養型病院として最適な土地として友廣理事長が選ばれました。サン・レモの名前もこれに由来します。

病床からのハウステンボスや大村湾・多良岳・雲仙の眺めは見事で入院患者様も職員も元気がでます。

- 平成 7年(1995年) 長崎大学名誉教授の市丸道人先生が管理者兼院長に就任されました。  
平成10年(1998年) 病床を260床に増床。  
平成11年(1999年) 日本医療機能評価機構の認定病院となりました。これは長崎県内の長期療養病院として初となります。  
平成12年(2000年) 通所リハビリテーション事業所と居宅介護支援事業所を開設しました。  
平成19年(2007年) 浅井貞宏が管理者兼院長に就任しました。  
平成20年(2008年) 日本アレルギー学会専門医教育研修施設認定(長崎県北部唯一)  
平成23年(2011年) 浅井貞宏が医療法人佐世保同仁会理事長兼任となりました。  
平成28年(2016年) 吉良秀秋がサン・レモ リハビリ病院院長に就任  
浅井貞宏が // 管理者・法人理事長継続  
平成29年(2017年) 介護療養病床36床を医療療養病床へ転換(医療療養260床)  
平成30年(2018年) 佐世保同仁会病院の建替えに伴い、サン・レモ リハビリ病院の病床変更(260床→310床)  
令和元年(2019年) 日本医療機能評価機構5回目の認定  
令和 2年(2020年) 医療法人佐世保同仁会から医療法人心々和会へ法人名変更  
令和 3年(2021年) 新病院(佐世保国際通り病院)の新築完成によりサン・レモ リハビリ病院は216床となる。  
令和2~5年(2020~2023年) 新型コロナウイルス感染症の流行に対して職員全員、力を合わせて対応。



特に近年のエポックメイキングな出来事としては、佐世保国際通り病院の新築への協力と新型コロナウイルス感染症対策です。

いずれもサン・レモ リハビリ病院の全職員、法人心々和会の全職員の密な連携により適切に対応されています。

開院30年を振り返って法人の2病院、すなわちサン・レモ リハビリ病院と佐世保国際通り病院の両病院の自立と連携の重要性を改めて感じています。

開院30周年をいかに祝うか、  
コロナ感染の動向を見ながら検討をしている状況です。

いずれにしても各部門それぞれの30年の歴史をこの機会にまとめてみて下さい。  
各部門の今後の発展のヒントが見えてくるでしょう。

次頁に本院開院後の略歴をまとめておきます。





医療法人 心々和会(旧佐世保同仁会)	サン・レモ リハビリ病院
昭和40.6.1 医療法人(社団)佐世保同仁会設立 友廣嘉久 理事長就任	平成5.5.1 サン・レモ リハビリ病院 特例許可老人病院として開院(200床) 友廣嘉久 理事長
昭和44.4.11 佐世保同仁会病院新築	平成7.7.1 市丸道人(長崎大学名誉教授) サン・レモ リハビリ病院 管理者兼院長に就任
	平成9.4.1 病床変更(200床→250床)
	平成10.4.1 病床変更(250床→260床)
	平成11.7.26 日本医療機能評価機構認定(長崎県内長期療養病院初)
	平成12.4.1 サン・レモ リハビリ病院260床のうち介護病床36床へ転換
	// 通所リハビリテーション事業所の開設
平成12.10.14 友廣嘉久 理事長 死去	// 居宅介護支援事業所の開設
平成12.11.11 友廣ハツ工 理事長 就任	平成19.6.2 浅井貞宏 サン・レモ リハビリ病院 管理者兼院長に就任
	// 市丸道人 // 名誉院長に就任
	平成20.1.1 日本アレルギー学会専門医教育研修施設認定(長崎県北部唯一)
平成22.6.10 友廣ハツ工 理事長 死去	
平成22.6.11 友廣慎吾 理事長 就任	
// 友廣佳美 理事 就任	
平成22.7.7 長崎大学病院に友廣記念医師育成室を寄付	
平成22.7.31 紺綬褒章を受章	
平成23.6.6 浅井貞宏 医療法人佐世保同仁会理事長就任	
// 齊藤 厚 佐世保同仁会病院管理者兼院長	
// 兼サン・レモ リハビリ病院名誉院長に就任	
令和2.6.1 医療法人佐世保同仁会から医療法人心々和会へ名称変更	
令和3.2.1 新病院「佐世保国際通り病院」の開院(94床)	
// 齊藤 厚 同病院管理者兼院長	
令和5.4.1 村瀬邦彦 佐世保国際通り病院院長に就任	
// 齊藤 厚 同病院名誉院長兼管理者となる	
令和2～5 世界的新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受けた。 職員全員力を合わせてそれに対応。	
令和5 サン・レモ リハビリ病院 開院30周年	



## 院長挨拶

サン・レモ リハビリ病院院長

吉良 秀秋

私が平成9年の4月からサンレモに来て、約26年になります。私の履歴の中では圧倒的に一番長くなりました。26年といえば、私が赴任した時に20才前後の職員の方々もおられました。その方々も今や40数才になっておられることとなり、まさに青春をサンレモに捧げていただいた事になります。

この病院での最初の頃は、病院も発展途上で、初めて病院機能評価を受けた時は大変だったと記憶しています。当時は、病院としての力不足のため、やむを得ず他院に転院していただく患者様も時々あったと思います。しかし最近では、手前味噌かもしれませんが、本院のチーム力がついたためか、こういう話は、ほとんど聞かれなくなっています。病院のチーム力は全てのスタッフの総合力であって、スタッフ同士がお互いにリスペクトすることが大事だと思っています。徳川家康の「家」は、三河を治める時に一つの家という発想に基づいているそうです。やはりチームとしてのまとまりを大事にしたのでしょう。

最近では、本院にとってもコロナの蔓延が大変な課題となりましたが、病院での風邪やコロナの有力な予防法の一つは掃除だそうです。これからもすべてのスタッフがワンチームとなって、より良き病院にできたらと思います。そして、サンレモが今後も長く続く職場となることを願っています。



## 所属医師の紹介・挨拶



荒木 潤 先生  
(副院長)



柴田 哲雄 先生  
(副院長)



南 寛行 先生  
(副院長)



山城 修治 先生



中田 晴雄 先生

### ～サン・レモ リハビリ病院30周年に当たって～

#### 荒木 潤 先生

サン・レモ リハビリ病院は大村湾に面し、ハウステンボスもすぐ目の前にみえ、自然に囲まれ、療養に適したところにあります。5年前に赴任した時には、桜も満開で、大変風光明媚なところで感激しました。外来は呼吸器専門で、喘息、慢性閉塞性肺疾患、睡眠時無呼吸など中心に診ています。入院は高齢者が多いことから、内科全般に幅広く見て老人医療、緩和医療に取り組んでいます。これからも患者様に寄り添い診療していきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

### 柴田 哲雄 先生

30周年誠に御目出とうございます。当院で勤務させて頂いて3年が経過しましたが、まだ病院の歴史の1割です。当院が地域医療の要となりますよう、また、身内を入院させたいくなるような心温かい病院でありますよう、微力ながら尽力して参りたいと思っております。

### 南 寛行 先生

サンレモ開院30周年おめでとうございます。早いもので、私もその三分の一以上を勤務させていただいていることとなります。最近では重症の患者様の入院も多く、良質な医療を提供できるよう、今後も努力したいと思います。

### 山城 修治 先生

私が当院に勤務するようになって25年が経ちました。その頃は患者様も元気な方が多く、食事時間になると自分で駆動する車椅子で混雑していました。しかし徐々に医療的処置が必要な患者様が增加しています。医療的処置が多い患者様にも比較的長期的に対応できる病院の一員として仕事を継続していきたいと思っております。

### 中田 晴雄 先生

コロナに対する規制が先々緩和されて病棟での患者様の御家族のお見舞いも再開されるようになりましたら、病状の説明を十分におこない、御家族の希望にもそえるような診療をしていきたいと思っております。

### 原 真一郎 先生

30周年おめでとうございます。  
令和5年の新しい年になり、コロナ感染症も少しずつ終そくし始めました。  
サン・レモ リハビリ病院としても皆さんの総合力で今年も無事に乗り切ることを願ってます。



## 看護部



サン・レモ リハビリ病院の看護部は、看護師60名・看護助手69名の総勢129名が5病棟に分かれて勤務しております。

理念に「質の高い看護、介護の提供」を心掛け、常日頃より患者様や御家族様からの信頼を受けるよう努力しています。

## 事務部(総務課)



当部署は、外来の患者様の受付や入院患者様の入院手続き及び診療報酬算定・請求など医療事務を行っている部門と当院の運営等や職員に関する労務管理など庶務全般を行っている部門です。

当部署は直接医療には係わりませんが側面から各部署を支える部門です。今後も患者様に満足いただける医療環境を提供するため、スタッフ一同取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。

## 地域連携室



地域連携室では、入院相談の受付から患者様の情報の集約、入院に至るまでのご家族様及び関係機関との調整(前方支援)や、入院療養中の患者様やご家族様への各種相談支援、課題解決や退院に向けた連絡調整、必要な手続きの支援(後方支援)等を行っております。微力ではありますが、入院という困難な状況にあっても安心して療養生活を送ることが出来ますよう、お手伝いさせていただきます。また、関係機関等の皆様と緊密な連携を図ることで地域医療の一助となるよう、これからも努めて参ります。



## リハビリテーション科



1993年5月に開院して、リハビリ科は理学療法の理学療法士1名、助手2名から開始し、2年目に作業療法、3年目に言語療法が加わり、長崎県北部では3部門を行う数少ない病院の1つでした。今はありませんが病院を1周する遊歩道での野外歩行、ゲートボール場で病院職員とデイケア利用者で対戦し職員が惨敗したこと、花壇での花や野菜の栽培、ヤギが雑草を食べていたことが懐かしく思い出されます。

国の方針で病院形態やリハビリ治療が変わるたびに患者層も変わり訓練形態も変化し対応してきました。今は新型コロナ肺炎の感染防止で3密を避け治療は病棟訓練と訓練室を併用して行っています。リハビリ科は理学療法士6名、作業療法士3名、言語聴覚士2名で治療を実施し、「感謝」「笑顔」「思いやり」「支えあい」の言葉を胸に精進しますのでよろしくお願ひします。サン・レモだよりでリハビリの取り組みを紹介していますので過去の号も是非ご覧ください。

## 放射線科



放射線科は現在診療放射線技師2名で業務を行っております。

主にレントゲン室や病室での撮影、CT装置での検査などを行っております。

患者様一人ひとりとの接する時間は少ないですが、その分接するときには明るく元気に接するよう心掛けております。

これからも、先生方や看護師さん、様々なスタッフと協力してより良い医療を提供できるように頑張りたいと思います。

## 居宅介護支援事業所



ご自宅で生活されている方のお手伝いをしているケアマネージャーです。

2000年介護保険がスタートと同時に開設されました。事業所は2階受付のすぐ横にありますのでお気軽にお声かけてください。



## 通所リハビリテーション事業所



当事業所には、医師、看護師、リハビリ専門職（理学・作業・言語）、介護職員が従事しており、多職種連携を密に取りながら、それぞれの専門性を最大限に発揮し、利用者様の生活支援に努めております。職員の平均年齢は、あえて控えめですが非常に若く、いつも和気あいあいとした雰囲気、利用者様からは『ここは美人と美男子しかおらんね』との声が聞こえてきそうです。

自然豊かな環境に位置しているため、四季折々の植物を楽しんだり、時には大家族化したイノシシやネコが利用者様の活気に惹かれて遊びにくることもありますが、ゆったりとした気分で思う

存分リハビリに打ち込むことが出来ます。

この恵まれた環境の中で、利用者様の生活の質(QOL)も豊かになることを目標に、リハビリや入浴支援はもちろん、職員との関わり合いを通して「よし！頑張ろう！」と思って頂けるようなサポートを、これからも心掛けて参ります。

## 薬剤科



新体制となり1年半が経過致しました。環境も整備され、業務の効率も以前より改善しています。

本年度は薬価格改定により大幅に増加が予想される医薬品購入額をいかに削減できるかが薬局の命題です。

医局と連携してそれに対する対策を模索し、実施していく所存です。またスタッフは薬局業務をそれぞれ分担し、適切に処理しています。サン・レモ リハビリ病院の誇れる薬局として第一歩を踏み出しました。

## 栄養管理科



栄養管理科は、管理栄養士3名、栄養士1名のスタッフで構成されています。

委託会社LEOCと共に他部署との連携を図り、特に患者様と直接話すことや、食事をされる様子を見てその方に合った食事を提供することに力を入れています。

病気と闘うには、まずは体力が必要です。そして患者様自らの意欲が必要です。

その意欲は食べることから始まるものではないかと考えています。色々な理由で口から食事ができなくなった方にも「食べたい」という希望があれば、可能な限り協力していきたいと思っています。そしてただ食べるだけではなく、楽しく、おいしく感じてもらうには誰が作っているのかを知ってもらうことが大切だと感じています。これからも患者様の近くで患者様の希望に寄り添った安全な食事を提供することを努めていきます。



## 施設・車両



施設2名、車両3名で頑張っています。開院以来、諸先輩方の築き上げた伝統と誇りを忘れず、患者様、御家族様はもちろん病院、職員の縁の下の力持ちとしてこれからもスピード対応をモットーに笑顔を忘れず頑張ります。

## 清掃



院内清掃業務8名、日々、看護部長指導のもと施設の協力も得ながら院内感染防止対策に努めております。感染対策を主に患者様の療養環境を第一に考え清掃業務に取り組んでいます。

## 洗濯受け渡し・面会補助



私たちの業務は、主として洗濯物の受け渡しと、昨年11月下旬より再開された面会の補助です。患者様の身を案じ来院される御家族様の気持ちに寄り添い、親切丁寧に接することを心掛けています。「ありがとう」「ご苦労様」「お世話になります」等のお言葉をかけていただき、有難くやり甲斐を感じております。これからも三人が心をつなげて、御家族様が心地よく来院されるよう努めてまいります。



## 売店



売店は、1階のコインランドリーの隣にあります。  
患者様やご家族、職員も利用しています。  
売店では、食料品や飲料をはじめ、日用品、介護用品などを取り揃えております。  
お気軽にお立ち寄り下さい。

☆営業時間☆

月曜日～金曜日 9時～16時半

土曜日 10時～16時

日祝は不定休

## 託児所



託児所はサン・レモ リハビリ病院  
が開院した翌年に開所しました。  
それから約29年の月日経ち何人もの  
子供が巣立って行きました。

託児所は自然に囲まれ四季折々の遊びを楽しんだり  
して伸び伸びと過ごせるよう心掛けています。また一人  
ひとりの興味や関心に目を向け様々な体験ができる  
ように努めています。

これからも個々の関わりを大切にして子ども達  
と楽しい時間を過ごして行きたいと思います。



## 編集後記

30th Anniversary

5月になり当院は開院30周年を迎えることが出来ました。

今回のサン・レモだよりは開院30周年特別号という事で、病院の歴史を振り返ると共に医師や病院を支える各部署の紹介をさせて頂きました。

30周年を迎えたばかりですが、今後40年、50年と末永く地域に必要とされる病院であるよう努力し、広報委員会もサン・レモだよりを通じ病院の様子を皆様にお届けられるよう、一層努力していかなければと思っておりますので、今後ともよろしく申し上げます。

令和5年度 開院30周年特別号(広報スタッフ一同)